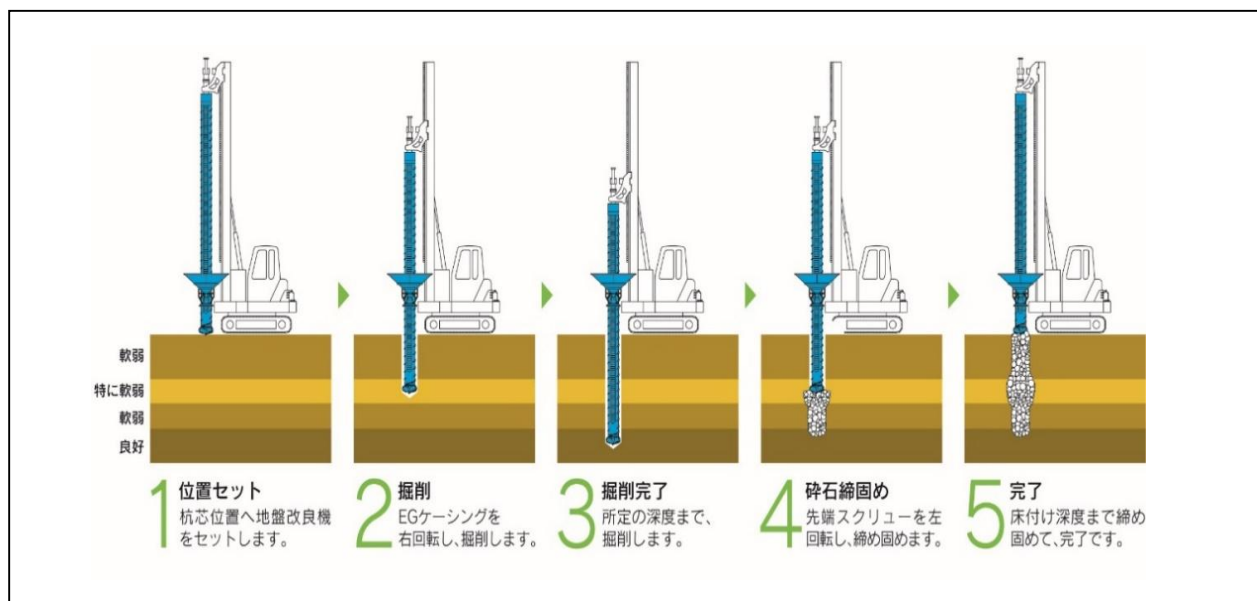


県内初導入！環境にやさしい「新時代の地盤改良工法」

住宅など小規模建築物における「エコジオ工法」

軟弱地盤を碎石（天然石）だけを使用して柱状に締固め地盤を補強する地盤改良工法



■EG ケーシングを使ったエコジオ工法(施工手順)

長崎県諫早市で2007年から建設業を営んでいるサキタ技研株式会社（専務取締役：崎田 英介 さきた ひでゆき）と申します。弊社は諫早インターから車で10分ほどの破籠井町に所在します。建設業の中でも「電気工事業、電気通信工事業」を主に請負っております。弊社は電気・電気通信工事の会社ですが、2019年、長崎県で初めて「エコジオ工法」のライセンスを取得し、3年目になりました。世界がSDGsを目標に掲げられる昨今、建築関係者様、これからマイホームを新築されるお施主様方を対象に改めて「エコジオ工法」を紹介させていただきます。

⇒エコジオ工法とは、三重大学と尾鍋組（三重県松阪市）との共同研究の成果に基づく地盤改良技術です。一般的に使われているセメントや杭を使わず、碎石（小さく砕いた自然石）だけを用いるため、地中に人工物を残さず、地球環境への環境負荷を大幅に低減します。地中に「人工物（埋設物）」を残さないた

め、土地の価値への影響を最小限に抑えることができます。また、他の砕石パイル工法では使われていない「EGケーシング（特許取得）」という鉄の筒を用いて掘削した穴の崩壊を確実に防ぐため、安定した品質で施工が可能です。更に、エコジオ ZERO 工法なら、残土を出さずに施工することができます。

つきましては、ぜひ、貴番組・貴紙にて取材の程、宜しくお願いします。

1.【顧客ターゲット】「建築関係者&マイホームを新築されるお施主様」

2.【コンセプト】「 価値 」×「 サービス 」

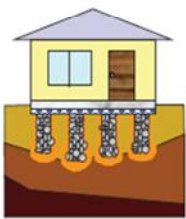



詳細⇒「地中埋設物」や「土壌汚染」は、地価を下げる可能性があります。
砕石だけを使用するエコジオ工法は、土地の価値を下げる可能性が低い地盤改良技術です。

3.【強み】「EG ケーシングの特徴」



詳細⇒エコジオ工法は、専用のEGケーシング（特許取得済）を用いることで、地下水のある軟弱な地盤でも掘削した穴の崩壊を防ぎ、安定した品質を保ちます。このEGケーシングの側面から砕石を投入することが出来る為、機械を小型化できたことで住宅地盤の改良に使用できるようになりました。

4.【リリースのポイント】既存工法とエコジオ工法の比較

イメージ図					
種類	エコジオ工法		既存工法		
工法名	エコジオ工法	エコジオZERO	表層改良工法	柱状改良工法	鋼管杭工法
材料	砕石のみ		セメント系固化材		鋼管杭
地中に残る物	劣化しない天然石		六価クロムが発生する固めた土（人工物）		劣化する鋼管（人工物）

※エコジオ ZERO は、排土が出ないタイプ

5.【この工法をはじめた理由】または【目標&夢】



エコジオ工法は砕石（自然石）のみを使用して地盤を補強する工法です。地中には既存工法と違い人工物を埋設することはありません。よって将来、撤去する必要も無く有害物質による地下水、土壌、大気汚染を心配する必要もありません。その観点から、最近よく耳にするSDGsの11番「住み続けられるまちづくりを」を目標とし、2030年までに、廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減することを目標として取り組んでいきます。

<以下、参考資料>

■代表取締役 崎田 房則（さきた ふさのり）

- ・2007年3月 長崎県諫早市船越町にサキタ技研を創業（個人事業）
- ・2007年7月 建設業（電気通信工事業）の許可を取得
- ・2010年4月 建設業（電気工事業、とび・土工工事業）の許可を取得
- ・2012年5月 サキタ技研株式会社設立（法人成り）
- ・2019年1月 新規事業として地盤改良（エコジオ工法）に着手

■概要

名称	「エコジオ工法」
特徴	軟弱地盤を砕石（天然石）だけを使用して柱状に締固め地盤を補強する地盤改良工法
導入日	2019年3月
費用 （目安）	住宅1軒あたり40万～100万円

<資料に関してのお問合せ先>

サキタ技研株式会社

広報担当：崎田 英介

電話：0957-46-3566（携帯 090-9591-6229）FAX：0957-46-3577

E-Mail：hide@sakita-giken.jp

HPアドレス：https://sakita-giken.com/

住所 〒 854-0085

長崎県諫早市破籠井町 294 番地 1